



ロータリーは
機会の扉を開く

Weekly Report 2020-2021

会長：辻隆志 / 幹事：吉本委子 / 会長エレクト：低田陽介 / 副幹事：江島繁夫 / S.A.A: 遠藤直樹

創 立 1969年4月14日
認 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広 報 委 員 会

今週のプログラム	第 2477 回	11月20日
篠原徹ガバナー公式訪問		
担当者	会長・幹事	例会場 JRクレメントホテル高松

先週のプログラム	第 2476 回	11月13日
誕生日卓話：堀田会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRクレメントホテル高松



社会長挨拶



吉本幹事報告



住谷会員より



松下会員より



誕生日卓話:堀田会員

社会長挨拶

先週の土曜日、高松北ロータリークラブの40周年記念式典に、吉本幹事と参加してまいりました。今年はコロナの影響により、規模を縮小して開催したそうですが、高松北ロータリークラブは、会員が90名弱在籍されていますので、全体では100名ほどの参加者になりました。式典は2部構成で、第1部は5年以内の物故会員のご紹介、連続出席会員のご紹介、50周年記念事業の紹介で構成されていました。記念事業は、しりと動物園の年間パスポートを100万円分、福祉施設に寄付されたそうです。他にも、小学生サッカー大会、ジュニアゴルフ大会を主催されており、青少年育成に非常に力を入れているクラブだなあ、と感じました。第2部は、オペラ歌手の方をお招きされていて、3曲の歌を聞かせていただきました。歌が終わった後に、歓談していると、少し離れたテーブルから、歌声が聞こえてきました。先程のオペラ歌手の方が、もう一度歌っているのかと思って、そのテーブルの方を見ると、太田パストガバナー

歌われていました。それから、舞台の上で1曲ご披露されていました。式典は、最後に皆さんで輪になって、手を繋がずに「手に手をつないで」を歌って、無事終了いたしました。非常に楽しい40周年記念式典でした。

吉本幹事報告

- 2021年国際ロータリー年次大会台北大会参加募集のご案内を回覧します。
- 来週は篠原ガバナー公式訪問です。ロータリージャケットのご着用をお願いします。
- 来週は理事会開催いたします。メンバーの方は例会後お集まり下さい。

出席報告

出席委員長：岡田和幸

会員数 /	51名	出席規準数 /	50名
出席者数 /	27名	欠席者数 /	23名
出席率 /	54.00%	ビジター /	0名
最終出席率 /10月23日	56.00%	→	66.00%

11月20日 今日は何の日

今日生まれの有名人

少年を非行から守る日	1980年 小池栄子	1942年 ジョー・バイデン
1938年 岩波書店が「岩波新書」刊行開始	1946年 猪瀬直樹	1932年 萬屋錦之助
1948年 日本初の競輪が小倉競輪場で開始	1943年 浜美枝	1915年 市川崑

誕生花	パンクシア、花言葉は“勇気ある恋”
誕生石	トパーズ(topaz)、宝石言葉は“希望”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー



例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2020pdf/11-20.pdf>

事務所

高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX

先般は会長幹事様楽しい宴にお招き頂きありがとうございました。石川
妻に誕生祝いをいただきました。住谷
お誕生日祝ありがとうございます。松下
辻さん、鈴木さんありがとうございました。低田
卓話させていただきました。堀田
早退 3件

合計 8 件

本日の合計 18,500円

2020-2021年度累計 529,000円

メイクアップ

11月 6日 北海道2500ロータリーEクラブ 佐久間
11月 7日 高松北RC創立40周年記念式典 辻 吉本
11月 9日 高松北RC 松木 野口 藤田 泉谷 江島
11月12日 北海道2500ロータリーEクラブ 香西
11月12日 高松グリーンRC 松下

例会変更

11月19日(木) 観音寺RCは観音寺グランドホテルに変更
11月25日(水) 高松南RCは18:30ガーデンカフェ栗林/ヌー
ヴォー・シルク・ジャポンin栗林公園に変更
11月25日(水) 坂出東RCは11月28日(土)職場訪問例会に変更
11月26日(木) 観音寺RCは観音寺グランドホテルに変更

高松グリーンRC例会にて 社会奉仕委員長 松下幸司

11月12日、社会奉仕委員会としてNPO未来ISSEI 吉田ゆかり氏と
高松グリーンRC例会に出席してきました。

島谷前会長様からの
アプローチで濱田会
長様が是非とも例会で
講演して欲しいとの事
で行ってまいりました。
お礼のメールと写真を
添付します。



三好 輝徳さま・吉田 ゆかりさま・松下 幸司さま
昨日は、高松グリーンRCの例会にご参加いただきありがとうございました。
おかげさまで、ロータリーらしい社会奉仕事業例会になり、とても
感謝しております。
皆様の益々のご活躍を祈念いたしております。
また、早くご一緒に事業が出来ることを楽しみに致しております。

高松グリーンRC 濱田 吉隆

facebook

facebook でたくさん写真の公開
していますのでぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



2020-2021年度 国際ロータリー第2670地区 地区運営方針

「行動するロータリーを目指そう」 (Let's Take Action & Change Together)

—基本理念から新しい流れへ—

ガバナー 篠原 徹

地区方針の概略

2020年度のRI会長ホルガー・クナーク氏のRIテーマは「Rotary Opens Opportunities」となりました。日本語では「ロータリーは機会
の扉を開く」となっております。Opportunityという言葉のニュアンス
は、行動したり、目的、希望を達するのに都合の良い機会、状況と
いう意味で、偶然の機会は含まないようです。クナーク氏の説く真
意は、ロータリーはロータリーと接してくるあらゆる人々に対してあ
らゆる機会を提供する準備があるし、また、その機会を利用して頂
きたいといことのようなようです。

ロータリーの提供する機会の扉を開いて入ったその先の部屋に
は、さらなる世界、展開が待っているとの考え方で、今以上のロー
タリーや人々の飛躍を願っていると思われまます。

会員の皆様もご承知の様に、ここ数年前よりRIは規定審議会で
次々と定款、細則の変更を打ち出してきています。革新性、柔軟
性を重視して、会員増強、寄付促進、奉仕プロジェクトの充実、公
共イメージ向上等を強調するようになってきています。一方で、親睦
を基盤としたクラブ奉仕や自己研鑽、更に職業奉仕を主体とした
ロータリーの伝統的な考え方がやや薄れつつあり、古参の会員の
皆様にはやや戸惑われているような感があります。しかし、昨今の
情報化等を主体とした世界の激しい社会構造の変化の中で、私は
RIや世界のロータリアンの考え方の変化、方向性は今後共、もう元
に戻ることはなく、将来、今より更なる革新的な変化が起こる可能
性があると考えております。

一方で、ロータリー活動の原点である各クラブ、ロータリアンの自
主性、独自性は最大限尊重されるべきであり、日本のロータリーク
ラブの伝統的な考え方、地区運営のやり方等、伝統と継続性も非
常に大事だと考えております。

私は、本年度の地区方針を表題の様にいたしました。これは
従来のロータリーの基本理念、哲学を無視して、RIの変化だけを
重視すべきだと思っているわけではありません。むしろこれからは、
四つのテスト、四つのロータリーの目的、五つの中核的価値観
等に代表される理念、哲学は、精神のバックボーンとしてしっかり
堅持しないとロータリーの存在意義がなくなり、この点では、世界
のロータリーは一致していると思っております。

従って、今年度は、RI、世界のロータリーの新しい流れを否定的
に捉えるのではなく、適応しつつ、従来の伝統的運営のやり方を
ふまえながら変化していきたいと思っております。ロータリーは人道
的、教育的な奉仕団体であり、また、善意の人々の自主的な集まり
の団体ですので、形式上の考え方の相違はありましても、根本的
なところでは世界中変わらないと考えております。今年度は世界と
あわせながら前向きに行動して、少しずつ変化していきましようとい
うことを訴えたいと存じます。

次週のプログラム

第 2478 回

11月 27日

客話：「近未来の農業について」株式会社喜多猿八 喜多泰博様

担当者 プログラム委員会

例会場 JRCレメントホテル高松